

読売新聞 きょう（9月10日）のイチ押し

一面・社会面など 英国エリザベス女王死去 在位70年

英国史上最長の70年にわたって君主を務めたエリザベス女王が、死去しました。96歳でした。19日にも国葬が行われます。国民から敬愛されてきた女王の時代が幕を閉じ、長男で王位継承順位1位のチャールズ皇太子（73）が「チャールズ3世」として新国王に即位しました。

- ★英王室によると、女王は8日午後、静養先だった北部スコットランドのバルモラル城で安らかに息を引き取りました。国葬は歴代国王の葬儀が行われたロンドン中心部のウェストミンスター寺院で執り行われます。
- ★チャールズ国王は声明で「最愛の母である女王陛下の死は、私と私の家族全員にとって最も大きな悲しみの時だ」と述べました。
- ★エリザベス女王は長年にわたり、日本の皇室とも親交を深めてきました。1975年に来日した際には、京都を訪れました。日本でも、エリザベス女王とふれ合った多くの人たちが、追悼しました。

社会面 ウクライナ女性 パワハラで勤務先を提訴

奈良県内に住むウクライナ女性が、勤務していた会社の上司によるパワハラで精神的苦痛を受けたとして、会社に約550万円の損害賠償を求めて奈良地裁に提訴しました。上司は女性を「野良犬」などと罵倒して、ロシアのウクライナ侵略を巡り、女性を傷つける発言をしたとしています。

女性は日本文化にひかれて来日し、2018年からヘリ運航会社の奈良市内の事業所で海外取引の関連業務に従事。今年4月頃、ロシア関連の業務をすれば帰国後に反逆罪に問われることを恐れて「ロシアとの取引業務を避けたい」と伝えると、上司は、他の従業員との会話で侵略について「ウクライナも悪い」と聞こえるよう発言し、心を傷つけられたとしています。

他紙と比べて

関西経済面では、「広論セミナー」（本社後援）で将棋の羽生善治九段が講演した内容を詳しく伝えています。瞬時の最善の手を判断するトップ棋士は「直感、読み、大局観の三つの柱を駆使して考えている」と語ります。コロナ禍や不穏な国際情勢で、先行きが見通せない中で、公式戦で歴代最多の1500勝を誇る羽生九段の思考方法は、参考になるでしょう。本紙は紙面制作に加えて、セミナー開催にも注力しています。